

# 安全安心マップ かんたんマニュアル

## 保護者(大人)の方へ

危険な場所や危なそうな場所を調査&取材して、集めた情報と撮影した写真をもとに、地域の「安全安心マップ」を作成します。自分が住んでいる地域をよく知ることでなく、情報を整理してわかりやすく伝える能力を実践的に養います。なお、野外調査中は安全面の配慮から、20歳以上の大人が1名以上お付き添いいただくことを推奨いたします。

## ステップ1 作戦会議

○どんな地図をつくりたいか考える

### 犯罪が起きそうな場所

- ・人目が少ない
- ・路地が入りこんでいる
- ・落書きが多い
- ・たまり場になっている

### 通り道で危険な場所

- ・見通しが悪い
- ・ガードレールが壊れている
- ・街灯がない
- ・工事中の場所

### 災害のときに危険な場所

- ・大雨のときに川があふれそう
- ・ガードレールがなくて落ちそう
- ・地震でたおれそう

### 安全な場所・安全のための場所

- ・人どおりも多く安心して遊べる公園
- ・こども110番の家
- ・避難場所となる施設
- ・消火器や消火栓

### 昔からの安全な場所や危険な場所を学ぶ

- ・地域に伝わる防災の知恵
- ・災害の危険を知らせる地名
- ・駆け込み寺



○調査ルートや地図へかきこむ方法をきめる

学校・家・習いごと・お店・遊び場所など、よく行く場所からかんがえてみる

○メモ用の地図は、...

①大きな本屋さんで売っている地図

- ・・・国土地理院発行の地形図、住宅地図、観光案内地図

②インターネットの地図情報サービス

- ・・・Googleマップ、Yahoo!地図 など

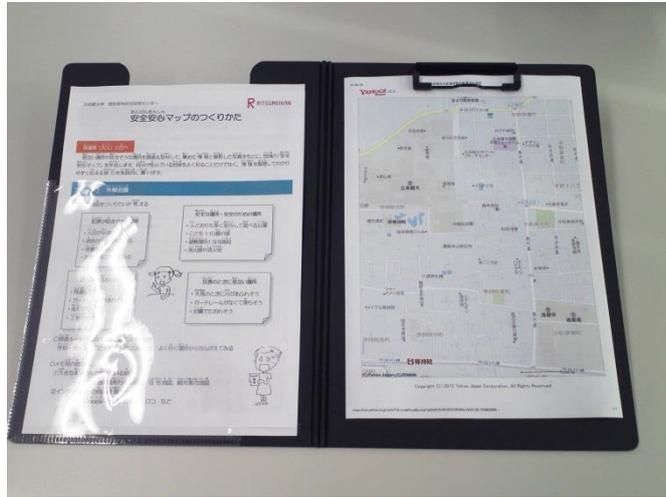


# ステップ2 やがいちようさ 野外調査

もちもの 持ち物：<sup>しよく</sup>4色ボールペン <sup>がばん</sup>画板 または <sup>クリップボード</sup>クリップボード <sup>ちず</sup>地図 <sup>ふせん</sup>ふせん デジタルカメラ



<sup>しよく</sup>4色ボールペン



クリップボードと<sup>ちず</sup>地図



ふせん



デジタルカメラ

○<sup>はんざい</sup>犯罪が<sup>お</sup>起こりやすい場所や<sup>ばしよ</sup>地震や<sup>じしん</sup>洪水の<sup>こうすい</sup>ときに<sup>あぶ</sup>危なそうな場所を探しながら、<sup>まち</sup>町を<sup>み</sup>見て<sup>ある</sup>歩く

★<sup>こうつうじこ</sup>交通事故や<sup>けが</sup>けがに<sup>ちゅうい</sup>注意しましょう

○<sup>き</sup>気になる場所を<sup>ちず</sup>地図にメモする

▼<sup>その</sup>その場所の<sup>ちか</sup>近くに<sup>ふせん</sup>ふせん・<sup>シール</sup>シールをはる

▼<sup>しよく</sup>4色ボールペンで<sup>いろ</sup>色分けしながら、<sup>はんざい</sup>どうして犯罪が<sup>お</sup>起こりそうなのかとか、<sup>あぶ</sup>どうして危ないのかという<sup>か</sup>ことを<sup>こ</sup>書き込む（<sup>しゆるい</sup>種類ごとに<sup>いろ</sup>色分けするとわかりやすい）

○<sup>しゃしん</sup>写真を撮る <sup>ちず</sup>地図にはりつくと、<sup>その</sup>その場所の<sup>ばしよ</sup>ようすがわかりやすくなる

▼<sup>ぜんたい</sup>全体の<sup>しゃしん</sup>写真：<sup>あぶ</sup>危ない場所の<sup>ぜんたいぞう</sup>全体像がわかる<sup>しゃしん</sup>写真

▼<sup>ピンポイント</sup>ピンポイントの<sup>しゃしん</sup>写真：「<sup>だんさ</sup>段差があつて<sup>あぶ</sup>危ない」など、<sup>あぶ</sup>危ない場所を<sup>ちず</sup>わかりやすく<sup>せつめい</sup>説明する<sup>しゃしん</sup>写真  
その<sup>ばしよ</sup>場所を<sup>し</sup>知らない<sup>ひと</sup>人に、<sup>どう</sup>どういう<sup>しゃしん</sup>写真を撮ったら<sup>わ</sup>わかりやすいか<sup>かんが</sup>考えながら<sup>と</sup>撮りましょう





メモ

ふせん



しゃしん  
写真

ちようきようのちず  
調査用の地図

### ステップ3 ちず 地図をつくる

- ① 模造紙に道路や川を書いて、白地図をつくる
- ② 野外調査で調べたことをまとめて、地図に書き込む情報を選ぶ  
▼ 地図に書き込むふせんやメモの情報を絞り込む(1枚の地図で伝えることができる情報は少ないよ)  
▼ 情報を種類ごとに分けておく  
(たとえば・・・ ▼ 危険な場所、 ▼ 安全な場所)
- ③ 地図に印をつける・情報の種類ごとに色や形をわかる  
(たとえば・・・ ▼ 危険な場所をみどり)、▼ 安全な場所をピンク)  
色鉛筆・色マジック・ドットシールで色分けするとわかりやすいよ
- ④ 見出し：一目でその情報がわかるようにかく  
(たとえば・・・ 街灯がない)
- ⑤ 説明：どんな危険なのか詳細に説明する内容をかく

(たとえば・・・ 事故が多い交差点。自転車で飛び出すととても危険)

④写真：その場所のようすがわかる写真を貼る



## ステップ4 地図を見せる

○分かりやすい地図になっているかを考えよう

○自分の経験や聞いた話だけでなく、他の人に感想を聞いてみよう  
(自分が気付かなかったことがわかるかも)

▼一緒に歩いたお友達や保護者の方々と話し合ってみよう

▼地図を見せて感想を聞いたら、地図に新しい情報を追加してみよう

